フレンド新聞

２０１９年
９月号
創刊２６８号
【発行所】
障害福祉サービス事業所
吉川フレンドパーク

故郷の「鉄砲ユリ」に魅せられて

理事長　小山 健一

数年前、故郷の知人から株分けしてもらった「鉄砲ユリ」の花が我が家の庭に今年、見事に花開きました。遠き地から離れ、与えられた土地で美しく咲く花の姿と香りに毎朝魅了され「今日も、頑張る一日に」と「ユリ」に力づけられた夏になりました。

ところで、今年の事業所の夏は、7月の「吉川フレンドパークまつり」から始まり、盆の三日間は、新しい試みとして、利用者の声も取り入れた三事業毎の「特別レクリエーション」を実施しました。盆の三日間は、それぞれに「カラオケ」「お買い物会」「お菓子づくり」「かき氷」等今までにない、利用者の思いと行動が結び付いた日々になったと信じてやみません。

また、就労移行支援事業でも、一人でも多く、当事業所に入所して頂くために、初めて「就労移行支援事業見学・体験会」を八月上旬に開催しました。「障害者雇用の現状」、「事業者紹介」、「ワークサンプル体験」、「作業室見学」等画期的な取り組みが出来たと思います。この夏、猛暑にもめげず取り組んだ数々の努力は、九月の諸行事に必ず直結して行くものと期待しています。

考え続ける日々

施設長　戸張 新吉

秋涼とは名ばかりの残暑厳しい9月が始まりました。これまで、フレンド新聞でもお伝えした入所施設等に関して、吉川市から市街化調整区域には建設不可能との回答を得ましたが、吉川市の近隣市町では、現実に、市街化調整区域でも入所施設等が開設されているのを視察してまいりました。

吉川市内の市街化区域及び市街化調整区域のどこがグループホーム建設に適地かの研究不足と痛感しております。

「どこかが、まだ、足りないところがある。まだまだ、道があるはずだと考え続ける日々は、輝いている。」これは、一八九四年和歌山県に生まれ、一九八九年に亡くなった松下幸之助氏の名言です。皆様方もご存じのパナソニックグループの創業者で、丁稚奉公時代に商売の基礎を学び、経営の神様と呼ばれた人です。

この名言を心の支えとして、どうしたら入所施設等を建設できるか、吉川市だけでなく、埼玉県や他市にご指導や有識者に相談をしたり、あらゆる手段を講じ、職員一丸となって、検討していかなければと思う日々です。

【９月の予定】

５日（木）
～　宿泊旅行（Ｂ型・移行）
６日（金）
１６日（月）敬老の日（祝日）
１８日（水）カレー昼食（Ｂ型）
１９日（木）
～　宿泊旅行（生活）
２０日（金）
２３日（月）秋分の日（祝日）
２５日（水）カレー昼食
（生活・移行）
２７日（金）工賃支給日
３０日（月）引き落とし日

【就労Ｂ型】

今年のお盆レクリエーション、Ｂ型は移行事業と合同で、三郷市にあるカラオケ「レインボー」に行きました。三日間を三グループに分け、一部屋五、六人だったので、二時間思う存分唄うことができました。事前に候補曲を決め、アニメソング専門の方、演歌中心の方、好きな歌手限定の方、思い思いに曲を選んでいました。最後は、みんなで大合唱した部屋も。みな大満足で、また来年も行きたい！来年まで待てない！という声も多数あり。次は、旅行でのカラオケを楽しみにしているようです。

【就労移行】

先月より、トライアル雇用で勤務を始めた利用者の方ですが、現場の責任者からその正確な仕事ぶりを高く評価されています。いくつかの課題も残っていますが、ご本人、雇用主、支援員が一体となって本採用に向けて取り組んでいるところです。また、その他の利用者の方々は、先日ハローワークに出向き、就職相談を受けてきました。窓口で自分の考えをしっかり伝えることができ、就職について真剣に考える貴重な経験となりました。目標に向け、頑張っていきます。

《製造班ニュース》

期間限定クッキー
オレンジチョコクッキー250 円
オレンジピールとチョコチップの相性抜群！ほのかな苦みとオレンジの香りがたまりません。

期間限定パン
エビチリパン140 円
エビチリのほのかな辛さで、夏にピッタリなパンです。
野菜カレーパン（天然酵母生地）
150 円
カレーの上に、色鮮やかな野菜（ズッキーニ、赤と黄色のパプリカ）とチーズを乗せて焼き上げています。
ココアメロンパン130 円
ココア風味のメロン皮に、クッキー＆クリームを入れました。

【生活介護】

今年の生活介護、お盆レクリエーションは、三日間異なる行事に取り組みました。

一日目は、近くのスーパーに昼食のお弁当、飲み物を買いに行きました。二日目は、午後の時間にホットケーキを作り、三日目は、かき氷を食べました。利用者からは、美味しかった。おかわりを沢山しました等、笑顔で話をしていました。

今月の旅行に向け、余暇時間を使ってカラオケの練習に熱が入っています。

【施設の様子】

八月のお盆レクリエーションでは、各事業所で利用者の意見を取り入れたイベントを行いました。

フレンドパークの九月と言えば、宿泊旅行。利用者も職員も楽しみにしている行事です。一日目は、伊豆ぐらんぱる公園の散策。緑豊かな広いところに沢山の遊具があります。二日目は、三嶋大社を見学。沢山の鹿がいるそうですよ！食の幸に恵まれた、伊豆での食事も楽しみの一つです。体調には、十分気をつけて当日を迎え、宿泊旅行を楽しみましょう！

【編集を終えて】

今月も、まだまだ暑い日があると思いますが、体調を崩さずに頑張っていきます。

（荒井　誠）